

JR 東海が相模原市緑区にイノベーション創出促進拠点
「FUN+TECH LABO」を2024年3月25日にオープン
～最先端技術の知見を持つ有識者とともにイノベーション創出へ～

相模原市緑区にイノベーション創出促進の拠点となる「FUN+TECH LABO」(ファンタステックラボ)を東海旅客鉄道株式会社(以下「JR東海」という。)がオープンしますので、お知らせします。

拠点の名称

FUN+TECH LABO

1. 所在地 神奈川県相模原市緑区橋本二丁目 356 番 1

2. 開業日 2024年3月25日(月)

3. FUN+TECH LABO・相模原市イノベーション創出促進拠点運営事業について

○相模原市では、市内外の企業や研究機関等、様々な主体の交流を図り、企業誘致や起業支援、スタートアップ企業の創出・育成を推進することを目的とした「イノベーション創出促進拠点運営事業」を行っています。(受託者: JR東海)

○JR東海が整備・運用する「FUN+TECH LABO」では、「中央新幹線神奈川県駅(仮称)の周辺開発を契機としたさがみロボット産業特区におけるイノベーションの創出促進に係る連携と協力に関する協定書」(2023年11月1日締結)及び本市事業に基づき、神奈川県、JR東海及び本市が相互に連携・協力してイノベーションの創出に取り組みます。

○本施設にはイノベーション創出に取り組む企業や団体などが利用するオフィス棟(7室)と、イノベーション創出に資する様々なセミナーやイベントを開催したり、市民が打ち合わせの際にご利用いただけるコミュニケーション棟が併設される予定です。

○本施設は、構造材等にさがみはら津久井産材(※)が使用される予定です(さがみはら津久井産材の普及、啓発を目的として、不特定多数が利用する民間施設を対象に、さがみはら津久井産材を使用し、木造化・木質化を行う事業に対して補助を行う「さがみはら津久井産材利用促進・普及啓発事業補助金」を活用)。

(※)相模原市内で生産された木材。丹沢の北斜面の寒冷な土地で育ち、年輪の目が詰まり、虫食いが少ないのが特徴。



外観 (左)オフィス棟(右)コミュニケーション棟



内観 コミュニケーション棟

FUN+TECH LABO (ファンタステックラボ)

より良い未来を創りたい。そんな思いを持つ人々が集い、技術や知見 (TECH) をかけ合わせて日々の生活のワクワク (FUN) につながるイノベーションを起こす。そんな場所にしたいという思いが込められています。

4. FUN+TECH LABO の特長

(1) 有識者の協力

- 本拠点では、オフィスを利用する団体を中心として、市民の皆さんをはじめ、多くの方にイノベーションと感じて頂けるような実証実験や社会実装に向けた取り組みを行います。有識者には、こうした取り組みについて立案・アドバイスを頂くほか、各種セミナー・イベントの企画への協力を頂く予定です。

<有識者名> ※50音順、敬称略

加藤真平 (株式会社ティアフォーCEO 兼 CTO)
神戸洋史 (公益社団法人日本鑄造工学会事務局長)
佐藤英一 (JAXA 宇宙科学研究所教授)
須田義大 (東京大学生産技術研究所教授)
松尾豊 (東京大学大学院工学系研究科教授)
暦本純一 (東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授)
渡部俊也 (東京大学未来ビジョン研究センター教授)

(2) 各種セミナー・イベント等の実施

- イノベーション創出に必要な様々な技術や知見、ノウハウ等を持ち合わせた有識者などによる各種セミナーを開催するとともに、地域住民の方々にも最先端技術が実装されたより快適、便利でワクワクする暮らしを感じていただけるようなイベントが企画されます。

(3) 環境にやさしい構造

- 建材に、東海道新幹線再生アルミや、相模原市「さがみはら津久井産材利用促進・普及啓発事業補助金」を活用した相模原市産木材であるさがみはら津久井産材を用いるなど、繰り返し移築使用が可能な、環境に配慮した建築物です。

5. 拠点の概要

所在地	神奈川県相模原市緑区橋本二丁目 356 番 1
レンタルオフィス	オフィス棟に 7 室
延床面積	351.23 m ²



さがみはら津久井産材公式ロゴ

問い合わせ先

(事業全体に係ること)

担当：創業支援・企業誘致推進課

電話：042-769-9253

(さがみはら津久井産材に係ること)

担当：森林政策課

電話：042-780-1401